

マラソン大会



年長さん最後のマラソン大会

がんばれ！がんばれ！！



がんばったよ！！

よ〜い！ドン！！

このみ

学校法人
木の实幼稚園

松山市西垣生町 1690
TEL 089-973-1256
FAX 089-973-1320

●発行人●
PTA 会長 川下 雅代
園 長 中矢コノミ
PTA 編集部
池上 恭子
林田 美穂
渡辺 陽子

『旅立ち』

理事長 中矢謙一郎

年が明け二〇一四年を迎えて間もなく、「ついに本田圭佑がイタリアのACミランに移籍を果たした。」というニュースが日本に伝えられました。

このニュースは、サッカーにさほど興味がなくても耳にされたという方も多いのではないのでしょうか。そして、今日の彼の姿を、小学生の頃の彼が「将来の夢」として文集に書き綴っていたということを耳にされた方もいると思います。

実は私も、小学校の頃の文集に書いたことを、社会人になって実現したという経験があります。残念ながら本田選手のように壮大で、また、大勢の子どもが憧れるような夢ではなかったのですが、それでも自分なりの「あんなこといいな、できたらいいな」を実現できた時、本当に嬉しかったことを覚えています。

但し、嬉しさのあまり舞い上がっていた自分を見透かしていた先輩から「親と周りに感謝しろよ。」と言われ、恥ずかしい思いもしました。そんなことを言ってくれた先輩にも感謝しました。

もう間もなくすると園を巣立ち、そして、更に広い社会へと旅立っていく子どもたちを見ていて、「彼らが夢を綴った本田選手と同じくらい、つまり小学校の高学年くらいになったとき、どんな夢を描いているんだろう？」と想像し、なんと自分がワクワクしてしまいます。

それと思うと、どうかそれまでに良い出会いが幾つもありますように、と祈りたくなる思いです。そして、これから出会う人や様々な経験から知りえたことなどが彼らの夢の種となり、自分なりの夢が描けるいいなと思います。

卒園していく彼らとふとしたときに「再会し、ふとしたことから夢の一つも聞かせてもらえた時には、彼らが出会った一人として、彼らを励ましてあげたいです。

「本気でやりたいことがあるのなら、挑戦しない手はない。世の中の誰一人として未来を正確に見通せないのだから、自分の挑戦の結末を他人に決めさせてはならない。」と。

「さあ、旅立ちの時は今、重たく沈んだ礎を上げ、」出発のファンファーレが聞こえてきました。巣立つ彼らを祝福する季節が、今年もやってまいりました。

「卒園に思う」

園長 中矢コノミ

平成二十五年度が終了します。一〇九名の卒園児のこのみっ子、御卒園おめでとうございます。三年二年一年と木の実幼稚園で過ごしたこのみっ子達。ひよこ組から出合ったお子様はもう少し長いこのみっ子。
 光輝く春、優しい春、透明感のある空気が漂う春の日にお別れです。

幼な児をコンパイトウにたてる事がよくあります。何故なら、思いをうまく言葉で表出できない分、体中からコンパイトウのように沢山の突起を出して自己主張をする幼な子の姿はまさにコンパイトウ！先生達も子どもたちと同じようにコンパイトウ。一人ひとりの思いに寄り添うために、一人ひとりが安心して園生活を過ごすことが出来るために、そして幼稚園大好きと思える子になって欲しい、体中突起を出し子どもたちの思いをキャッチし、よりよい環境になりたくまた、日々の生活の中で健康で元気に過ごせることの感謝やこの世の万物には命がひとつしかないことを伝え、この命に火つきこの命の重みを感じ、この命を守るために地震や火災・津波また、交通指導等々の訓練を大切にしました。
 「幼くても自分の命は自分で守る。」この子たちが育つこれからの社会は今よりずっと複雑になり人との関わりも今以上に希薄になると思われまます。このような中で自尊心をしっかりと持って人と協調し合い「自分を大切に思い、人も大切に思える」このみっ子でいて欲しいと願います。私が大切にしています。皇后美智子さまの言葉を送ります。

「生まれて以来、人は自分と周囲との間に一つ一つ橋をかけ、人とも、物ともつながりを深め、それを自分の世界として生きています。この橋がかからなかつたり、かけても橋としての機能を果たさなかつたり、時として橋をかける意志を失った時、人は孤立し、平和を失います。この橋は外へ向かうだけでなく、内にも向かい、自分と自分自身との間にも絶えずかけ続けられ、本当の自分を発見し、自分の確立をうながしていくように思います。」

この文章の深く温かく人として生きるための本質を語って下さっているように思え、ずっと大切にしています。四月からは小学校一年生のこのみっ子さん。御家族の方は勿論のこと、多くの人々の愛情を一身に受け人々と心の橋をかけながら、ますます「人間大好きっ子」に育って下さい。期待しています。



長男なので、親子共々全ての行事が初体験でした。年少の間泣きながら園に行っていた息子ですが、今では毎朝笑顔でバスに乗り込んでいます。
 一番の思い出は夏のお泊まり保育の様です。その中でも川遊び



ふじ組 宮内 愛 (優斗)



きく組 山田 みどり (涼介)

プールとマラソン。喘息持ちの我が子の幼稚園遊びの最大のポイントでした。四つ上の長女の姿を見て「このみっこ」に憧れを持っていく涼介。嫌がることもなく笑顔で乗り込んでいくバス、誰と遊んだが覚えていない

が楽しかったように、自然の中で先生、お友達と過ごし、ひと回り成長して帰ってきました。ここには書ききれない程の思い出がたくさんあります。息子も楽しい思い出が詰まった幼稚園生活でした。



位楽しんだお遊び、「できたよ」が増えていく課外授業のサッカーやプール。いつの間にか元気な体と強い心がんばる力を身に付けていたように思います。多くの友達や先生方に囲まれ親子共々成長できた八年間に感謝です。

三年前に木の実幼稚園の門をくぐり、あの幼かった娘が、園での様々な経験を通してたくましく成長していく姿に日々感動させられてきました。ドキドキだったお泊まり保育、お友達と力を合わせた運動会：娘は大好き

思い出の幼稚園生活



あつと言う間に卒園。思い返せばとても懐かしく、親子で模索した三年間。笑ったり泣いたり、喜んだり悩んだり、いつだったか一生懸命で充実した三年間。行事はもちろん、普段の園生活も、積み重ねてきた全ての日々

なのお友達や先生との溢れんばかりの思い出と共に、もう少しで木の実を飛び立っていきまます。
 三年間、娘に関わってくたさった園の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



たんぼほ組 増田 麻美 (羽美)



さくら組 丹羽 智香 (修也)

がかげがえのない思い出です。この三年間での息子の成長は宝物そのものです。大切な幼児期にたくさん経験と感動をくれた木の実幼稚園といつも温かく見守ってくださった教職員やクラスの皆さんに、心からありがとう。

ひなぐんねん

平成二十五年十一月十九日避難訓練が行われました。大震災後の津波を想定して、園児と教職員、約一千口離れた垣生中学校まで、年長児が年少児を安全に気をつけながら、無事に徒歩で誘導しました。

木の実幼稚園の防災教育（防災にかかわる取り組事例）は園のホームページに詳しく掲載されていますので皆さんご覧ください。



池田先生
ありがとう
ございました♡

3学期の思い出

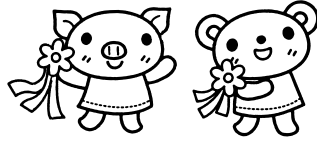
音楽会



雪あそび (小田深山2月6日・7日)



でとつぞいます



いしざき あぎと
(うちゅうひこうし)



いとう はると
(えをかくひと)



おおもと りゅうせい
(アイスクリームやさん)



かわそえ ごだい
(でんしゃのうんでんしゅ)



かん けんた
(せんちょうさん)



きのした そうすけ
(サッカーせんしゅ)



さかもと りょう
(サッカーせんしゅ)



たかいち りんた
(サッカーせんしゅ)



ひしやま ゆうき
(たこやきやさん)



まつら りゅうしょう
(ロボットをつくるひと)



みやうち ゆうと
(けいさつかん)



みよし あぎと
(サッカーせんしゅ)



わたなべ くみかげ
(しょうほうし)



わたなべ りゅうと
(ガリンスタントではたらくひと)



いけがみ りょうか
(アイスクリームやさん)



かまた りず
(トリマー)



きたがわ ここな
(アイドル)



くりた ゆい
(アイドル)



たけだ ほのか
(ケーキやさん)



つぼうち みと
(アイドル)



なかがわ ゆい
(ようちえんのせんせい)



なかじま ゆうな
(アイスクリームやさん)



ながとも あすか
(けいさつかん)



はました ひより
(パンやさん)



ふじた もえな
(ペットやさん)



まつら さくらこ
(パンやさん)



まんの きらり
(ようちえんのせんせい)



わたなべ まい
(ようちえんのせんせい)

ふじ組 (28名)



さかい のぞみ
せんせい

ごそつえんおめでとつございます。だいすきなふじぐみさん♡みんなといっばいわらって、たくさんのご事にチャレンジしたまいにちは、のぞみせんせいにとつて、ずっとずっとたからものです。これからも、えがおいっばい、やさしいいっばいのみんなであいてください☆たくさんのおもいでとパワーをありがとう♡じょうごうにいつても、たくさんのおともだちをつくってがんばってくださいね！みんなのこと、おうえんしています♡

おとなになったときのゆめをきいてみました

